１０．環境報告書ガイドライン及びTCFD対照表

環境報告書ガイドライン対照表（環境報告書ガイドライン2012・2018年度版）

項　目	本冊子の掲載ページ
環境報告の基礎情報	
1.環境報告の基本的要件	3、36
2.主な実績評価指標の推移	7-12
環境報告の記載事項	
1.経営責任者のコミットメント	学長トップメッセージ
2.ガバナンス	3、7
3.ステークホルダーエンゲージメントの状況	1-3、17-32
4.リスクマネジメント	4-6、25-28
5.ビジネスモデル	1、2
6.バリューチェーンマネジメント	2、5、7、10、16
7.長期ビジョン	学長トップメッセージ、7
8.戦略	1、2、7
9.重要な環境課題の特定方法	2、3、7
10.事業者の重要な環境課題	7、21、25
主な環境課題とその実績評価指標	
1.気候変動	4-32
2.水資源	5-8、12、16、17、22、26、30
3.生物多様性	5-7、18、23、26、29-32
4.資源循環	5-8、13、14-16、19、26、29、32
5.化学物質	4-8、14、19、22、28
6.汚染予防	4-10、12、14-16、19、22、23、26、28-30

TCFD対照表（気候関連財務情報開示タスクフォース；Task Force on Climate-related Financial Disclosures）

項目	本冊子の掲載ページ
ガバナンス（気候関連リスク・機会についての組織のガバナンス）	
1.取締役会による監視体制	3
2.評価・管理する上での経営者の役割	学長トップメッセージ、1-3
戦略（気候関連リスク・機会がもたらす事業・戦略、財務計画への実際と潜在的な影響）	
1.短期・中期・長期の気候変動のリスク及び機会	4-32
2.ビジネス・戦略・財務計画に及ぼす影響	8-14
3.戦略のレジリエンス	13-32
リスク管理（気候関連リスクの識別・評価・管理方法）	
1.リスクを選別・評価するプロセス	2、3
2.リスクを管理するプロセス	4、7
3.上記プロセスの総合的リスク管理の統合	2、3、7
指標と目標（気候関連リスク・機会を評価・管理する際の指標とその目標）	
1.リスク及び機会を評価する際に用いる指標	7
2.Scope1,Scope2のGHG	8-10
Scope3のGHG	-
3.目標及び目標に対する実績	7（2-32）